



歌川國貞画

万亭應賀作

安政三年
丙辰初春
開鐫

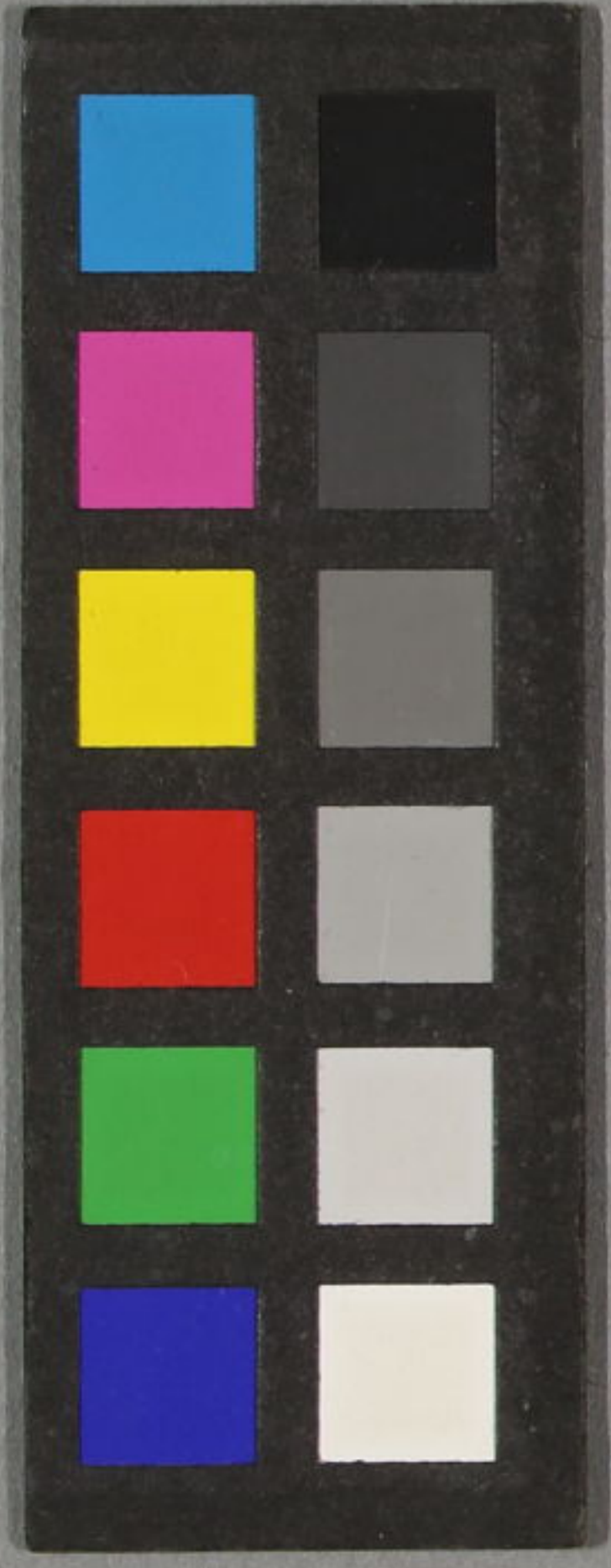
第十九
号

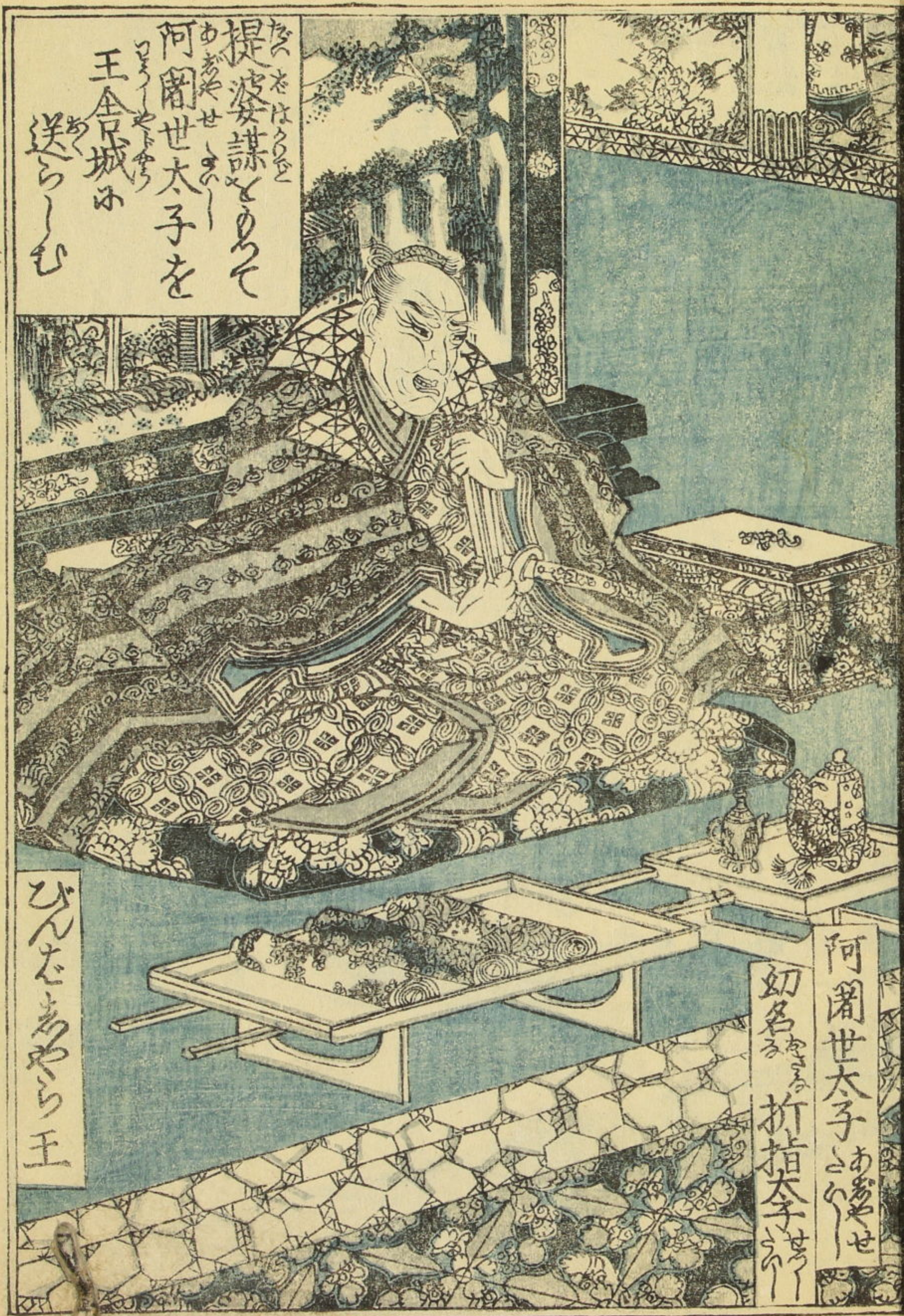
倭文庫三拾七編



^ 13
3749
18

上





提婆謀をもちて
阿闍世太子を
王全尺城に
送らしむ

びんたをあら王

阿闍世太子
幼名折指李



ののけ夫人

作下屋カ

中より出て
如来切利天
上方へ故摩耶夫人
小逢玉

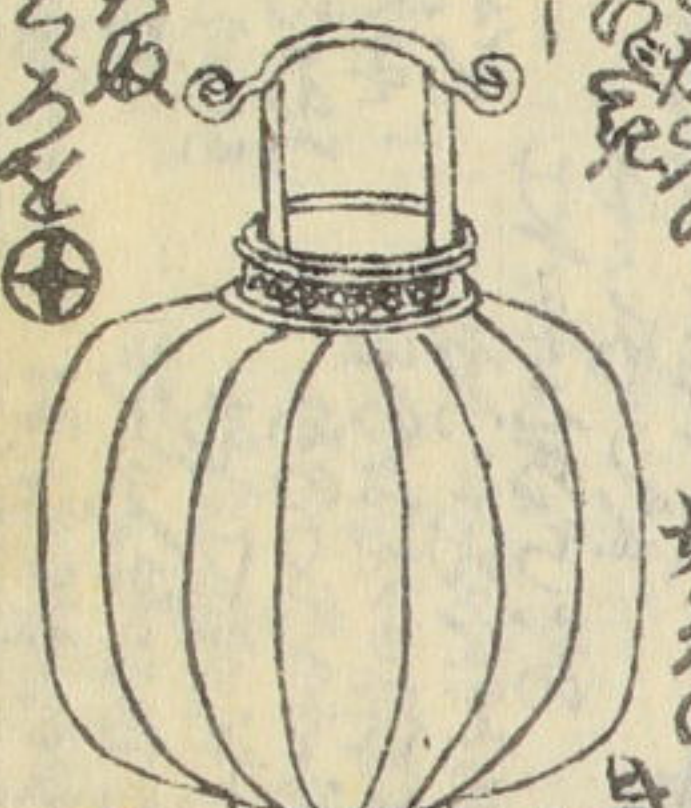
故摩耶夫人



帝釈天王

如来切利天

この世の人の心は...
わが世の人の心は...
わが世の人の心は...
わが世の人の心は...



あまのこころの...
あまのこころの...
あまのこころの...



あまのこころの...

あまのこころの...

あまのこころの...
あまのこころの...
あまのこころの...

この世の人の心は...
わが世の人の心は...
わが世の人の心は...
わが世の人の心は...



あまのこころの...
あまのこころの...
あまのこころの...
あまのこころの...

あまのこころの...
あまのこころの...
あまのこころの...
あまのこころの...

二



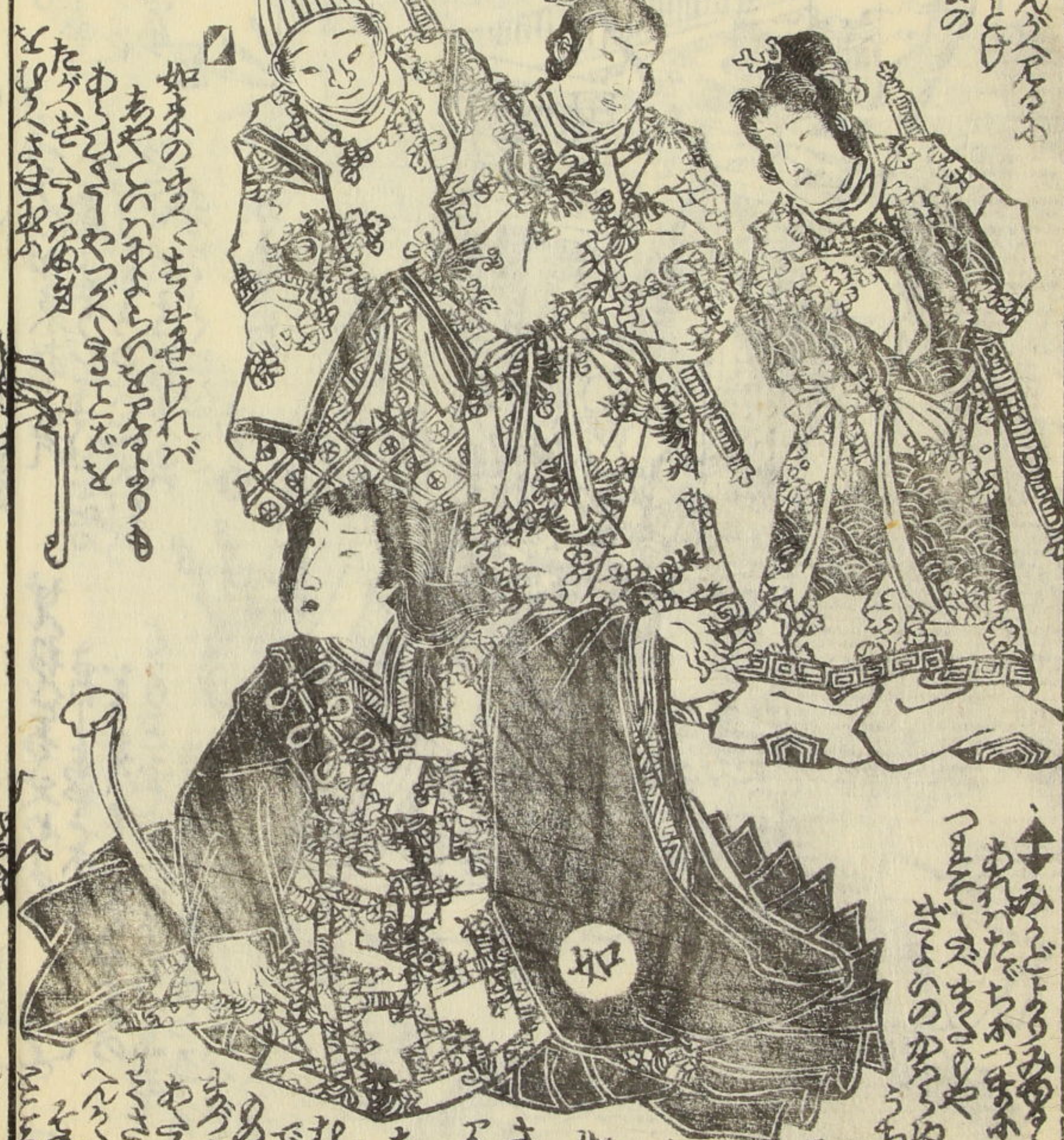
おれは... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十... 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十... 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十... 五十一... 五十二... 五十三... 五十四... 五十五... 五十六... 五十七... 五十八... 五十九... 六十... 六十一... 六十二... 六十三... 六十四... 六十五... 六十六... 六十七... 六十八... 六十九... 七十... 七十一... 七十二... 七十三... 七十四... 七十五... 七十六... 七十七... 七十八... 七十九... 八十... 八十一... 八十二... 八十三... 八十四... 八十五... 八十六... 八十七... 八十八... 八十九... 九十... 九十一... 九十二... 九十三... 九十四... 九十五... 九十六... 九十七... 九十八... 九十九... 百...



三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十... 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十... 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十... 五十一... 五十二... 五十三... 五十四... 五十五... 五十六... 五十七... 五十八... 五十九... 六十... 六十一... 六十二... 六十三... 六十四... 六十五... 六十六... 六十七... 六十八... 六十九... 七十... 七十一... 七十二... 七十三... 七十四... 七十五... 七十六... 七十七... 七十八... 七十九... 八十... 八十一... 八十二... 八十三... 八十四... 八十五... 八十六... 八十七... 八十八... 八十九... 九十... 九十一... 九十二... 九十三... 九十四... 九十五... 九十六... 九十七... 九十八... 九十九... 百...

よきもののめをわがうへるふ
りくみききうまのやち
るくしてとやうなるよの
もとの天よふ
あつちをりしんや
こめいんさるるさ
小わらわのさき
六所おの降がふ
あれておれおれ
夜又よきものを
けいさきいん
かふさす
いんさるる
とやうなる
そこのさあむん
てあつた
さうさう
そのめいん
そのさ
しんさ
うらさ
さうさう
さうさう

まげんやうへるふ
あつちをりしんや
こめいんさるるさ
小わらわのさき
六所おの降がふ
あれておれおれ
夜又よきものを
けいさきいん
かふさす
いんさるる
とやうなる
そこのさあむん
てあつた
さうさう
そのめいん
そのさ
しんさ
うらさ
さうさう
さうさう



あつちをりしんや
こめいんさるるさ
小わらわのさき
六所おの降がふ
あれておれおれ
夜又よきものを
けいさきいん
かふさす
いんさるる
とやうなる
そこのさあむん
てあつた
さうさう
そのめいん
そのさ
しんさ
うらさ
さうさう
さうさう

あつちをりしんや
こめいんさるるさ
小わらわのさき
六所おの降がふ
あれておれおれ
夜又よきものを
けいさきいん
かふさす
いんさるる
とやうなる
そこのさあむん
てあつた
さうさう
そのめいん
そのさ
しんさ
うらさ
さうさう
さうさう

あつちをりしんや
こめいんさるるさ
小わらわのさき
六所おの降がふ
あれておれおれ
夜又よきものを
けいさきいん
かふさす
いんさるる
とやうなる
そこのさあむん
てあつた
さうさう
そのめいん
そのさ
しんさ
うらさ
さうさう
さうさう



あつちをりしんや
こめいんさるるさ
小わらわのさき
六所おの降がふ
あれておれおれ
夜又よきものを
けいさきいん
かふさす
いんさるる
とやうなる
そこのさあむん
てあつた
さうさう
そのめいん
そのさ
しんさ
うらさ
さうさう
さうさう

應賀作國貞画

如何かまじき
 上りてコトハシク入らば
 好ましくあらざらん
 ありてはハシク入らば
 好ましくあらざらん
 ありてはハシク入らば
 好ましくあらざらん
 ありてはハシク入らば
 好ましくあらざらん
 ありてはハシク入らば
 好ましくあらざらん

これぞとこと
 ことゆゑに
 ことゆゑに
 ことゆゑに
 ことゆゑに
 ことゆゑに
 ことゆゑに
 ことゆゑに
 ことゆゑに
 ことゆゑに



これぞとこと
 ことゆゑに
 ことゆゑに
 ことゆゑに
 ことゆゑに
 ことゆゑに
 ことゆゑに
 ことゆゑに
 ことゆゑに
 ことゆゑに

安政四年丁巳春新板目錄

倭文庫 三十七編 三十八編 万亭 應賀作
 三十九編 四十編 一陽齋 豊國画

重の井菱漆別小紋 七編 為永春水 作画
 八編 同

昔語小栗實説 二編 松亭 金水 作画
 三編 同

花山吹百人女郎 二編 柳亭 種彦 作画
 三編 同

大寶御江戸圖 極上摺 奉書六枚半續

常磐津懷中本 初編 二編 三編 四編

重繪艸紙本類 人形町 上州屋重藏



非題曲五因忽

錦重堂板

下

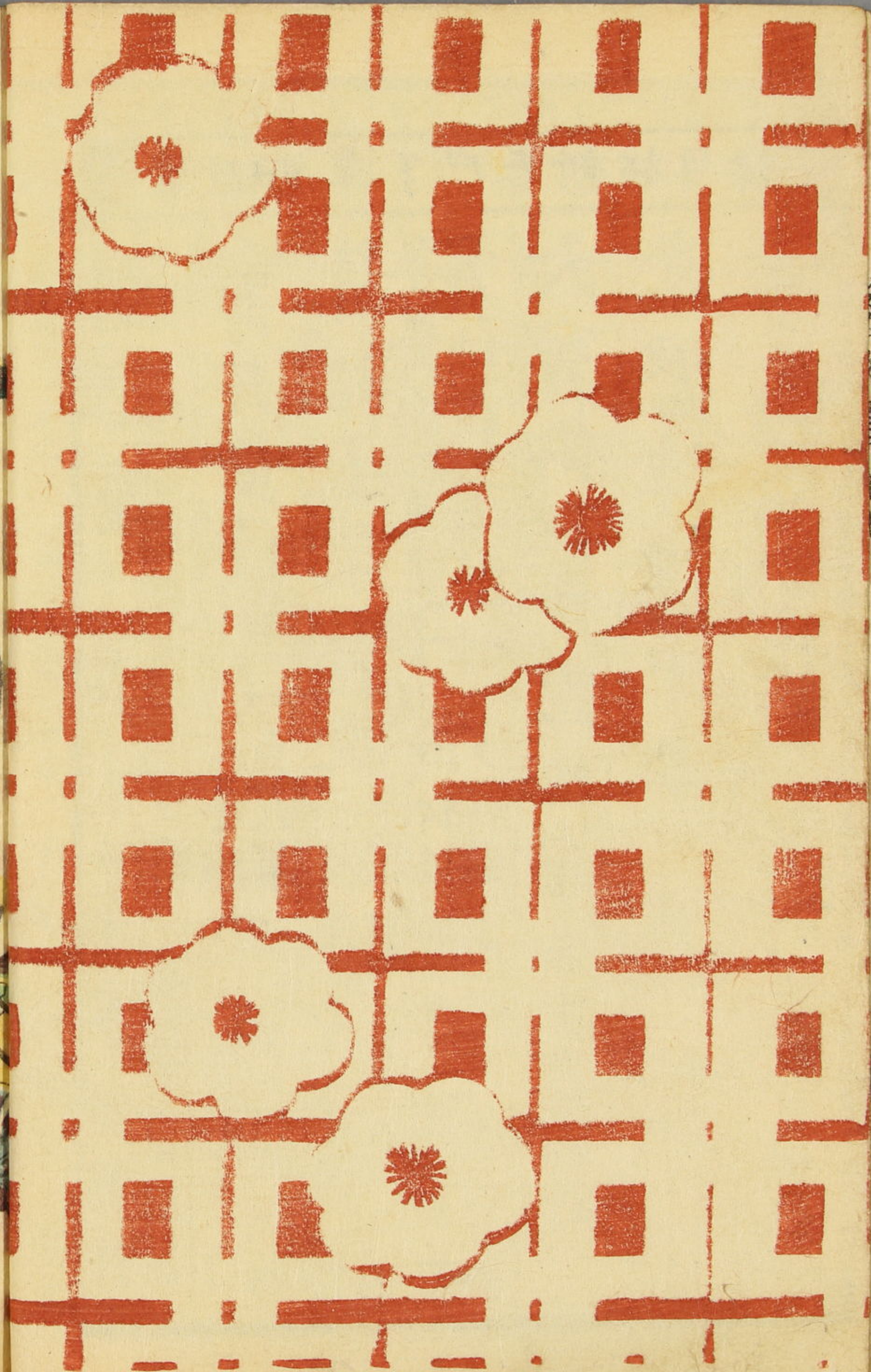
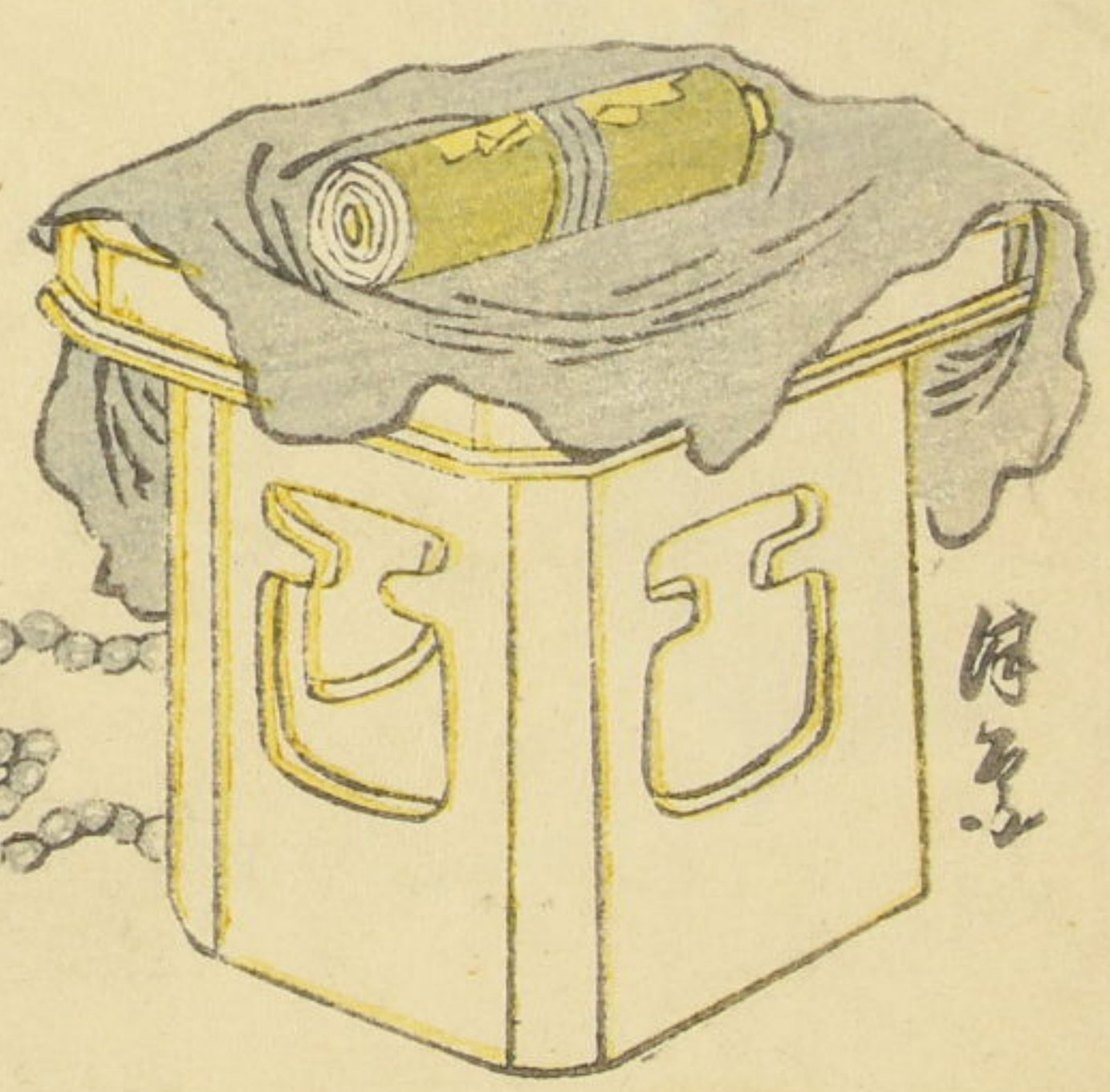


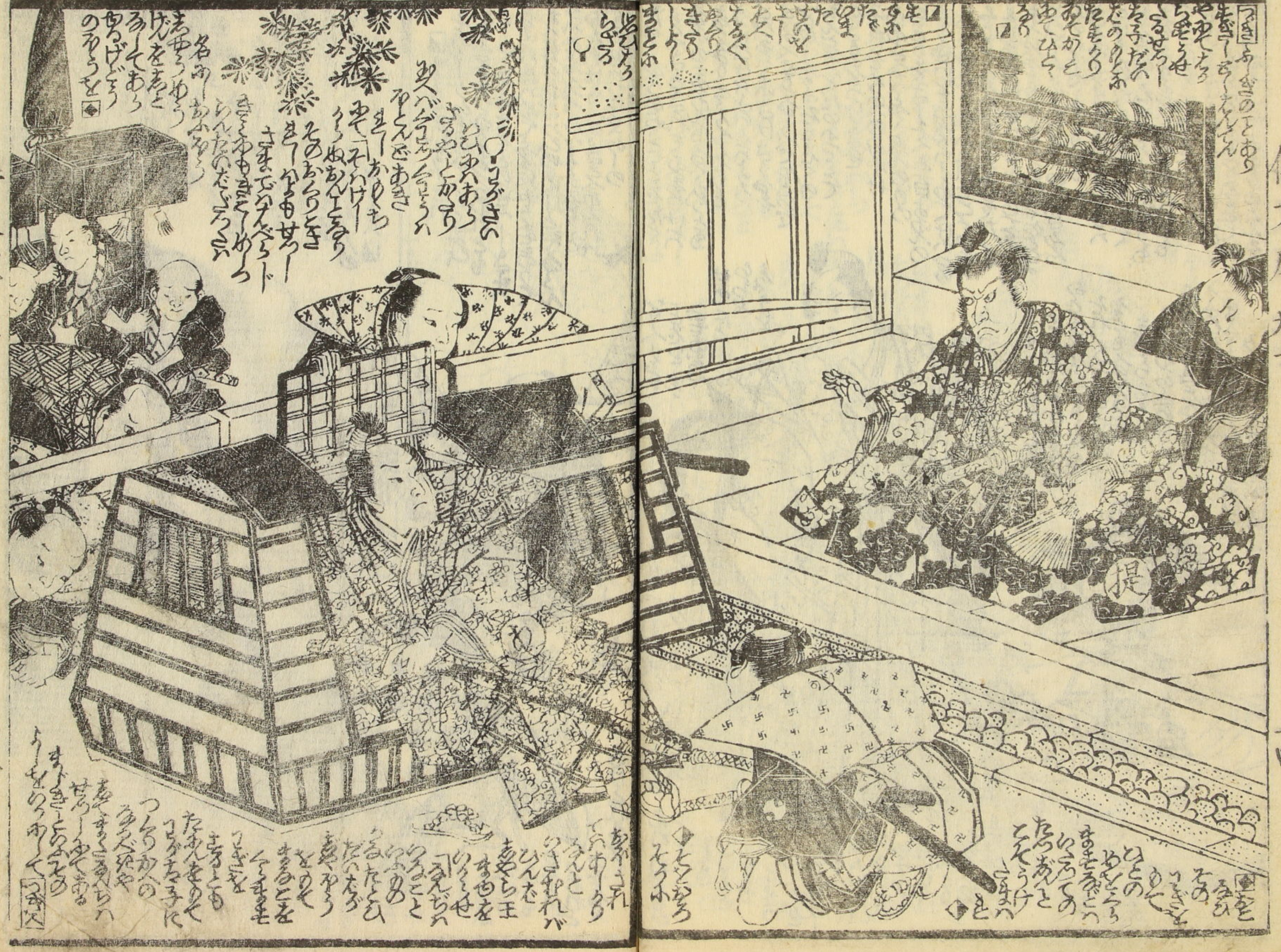
Illustration showing a central figure in a large, ornate hat and a patterned robe, surrounded by other figures in traditional dress. A long banner or scroll is held diagonally across the scene. The scene is surrounded by extensive handwritten Japanese text.

伝承
 字七海下
 應作
 圓貞
 画



金
 文
 入

傳承
 圓貞
 画

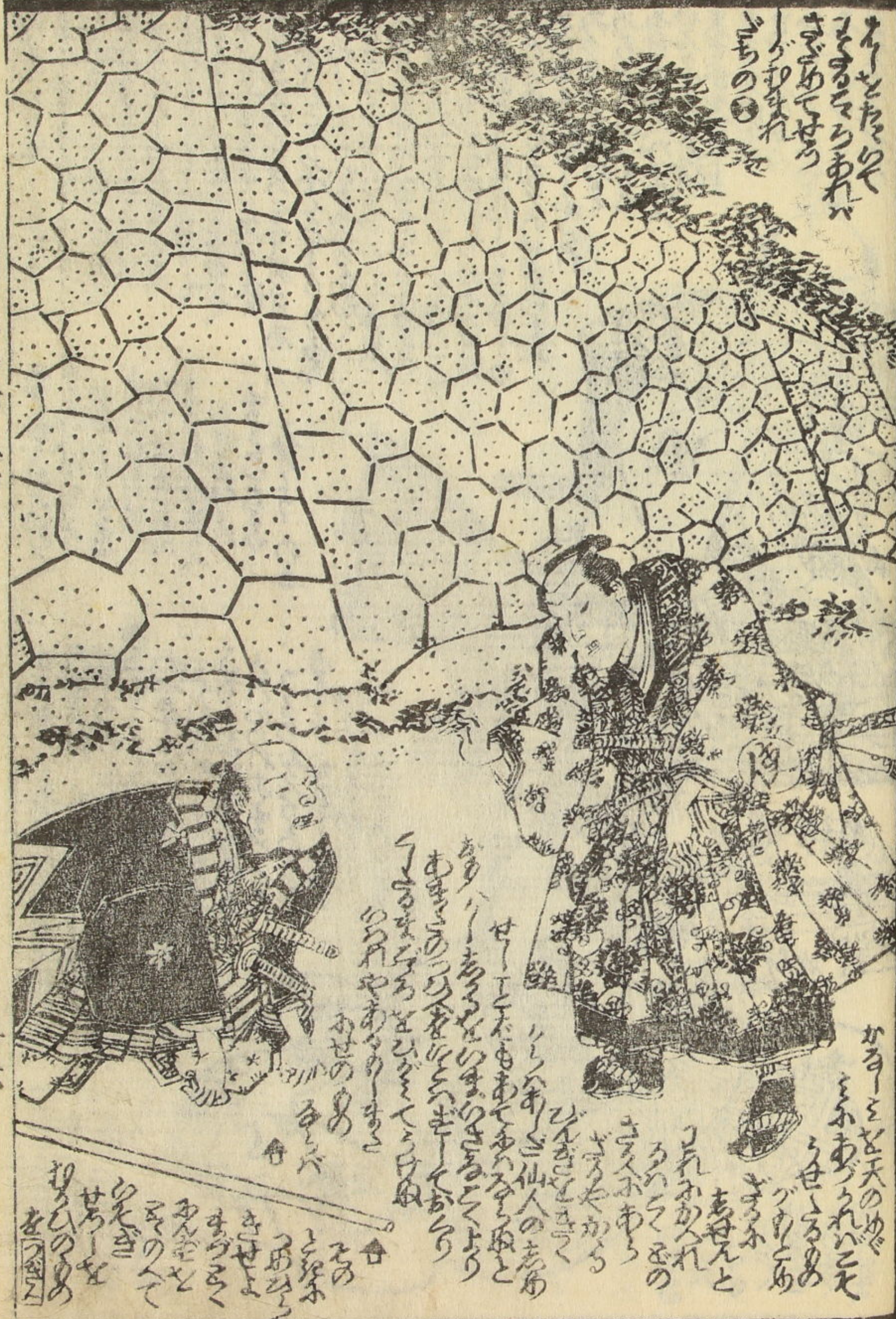


名の中 ありあがり
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう

あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう

あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう

あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう
あやうゆう



ちりちりちり
とささやうあわが
ききあてせう
くわあわれ
まの

かろいと天のゆ
とふあつれはこ
うせうあめ
つわあめ
きんか
あやんと
これあわれ
うのうその
きんかあ
さうあから
ひんか
しんか
せうあ
あつれはこ
うせうあめ
つわあめ
きんか
あやんと
これあわれ
うのうその
きんかあ
さうあから
ひんか
しんか
せうあ

あせのめ
あせのめ
あせのめ
あせのめ
あせのめ
あせのめ
あせのめ
あせのめ
あせのめ
あせのめ



あつれはこ
うせうあめ
つわあめ
きんか
あやんと
これあわれ
うのうその
きんかあ
さうあから
ひんか
しんか
せうあ

あつれはこ
うせうあめ
つわあめ
きんか
あやんと
これあわれ
うのうその
きんかあ
さうあから
ひんか
しんか
せうあ

あつれはこ
うせうあめ
つわあめ
きんか
あやんと
これあわれ
うのうその
きんかあ
さうあから
ひんか
しんか
せうあ

つきのうまへとてあな
 まれとも月とさうり
 二れあてらむのこまの
 せざるをう人のちけ
 主人のうやむらひを
 光のそとをたててさうて
 てるさうのあのかの
 けり子とさうてさうて
 あさのひをさうてさうて
 うまへとらひのうまへと
 うまへとらひのうまへと
 うまへとらひのうまへと
 うまへとらひのうまへと
 うまへとらひのうまへと
 うまへとらひのうまへと
 うまへとらひのうまへと
 うまへとらひのうまへと

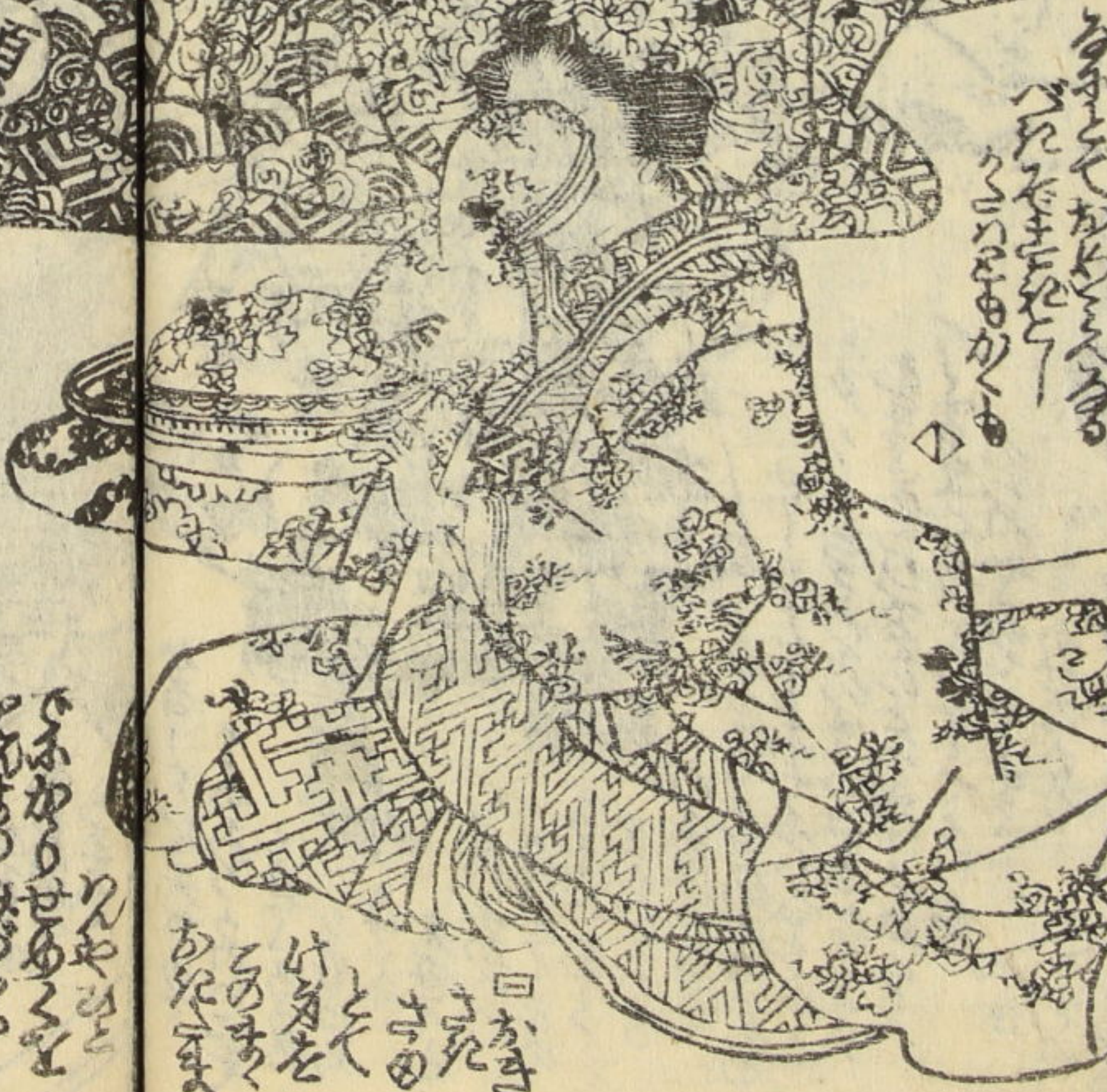
あつそひあ
 ころへひあ
 廿中とらひま
 さくおひあ
 ひのあつそひ
 よりたひま
 らあつそひ
 まつそひ
 めつそひ

あつそひあ
 ころへひあ
 廿中とらひま
 さくおひあ
 ひのあつそひ
 よりたひま
 らあつそひ
 まつそひ
 めつそひ

あつそひあ
 ころへひあ
 廿中とらひま
 さくおひあ
 ひのあつそひ
 よりたひま
 らあつそひ
 まつそひ
 めつそひ

あつそひあ
 ころへひあ
 廿中とらひま
 さくおひあ
 ひのあつそひ
 よりたひま
 らあつそひ
 まつそひ
 めつそひ

あつそひあ
 ころへひあ
 廿中とらひま
 さくおひあ
 ひのあつそひ
 よりたひま
 らあつそひ
 まつそひ
 めつそひ



あつそひあ
 ころへひあ
 廿中とらひま
 さくおひあ
 ひのあつそひ
 よりたひま
 らあつそひ
 まつそひ
 めつそひ

あつそひあ
 ころへひあ
 廿中とらひま
 さくおひあ
 ひのあつそひ
 よりたひま
 らあつそひ
 まつそひ
 めつそひ

傳文庫 冊二

傳文庫 冊二

安政四年丁巳新春新板目錄

端唄ナリ沼の竹	重榮御江戸繪圖	輿奉公出世双六	武家奉公出世双六	振合役替双六	男女遊 將棊双六	倭文庫出世双六
小舟上中下の三冊はむすのちを あつめるとひふれうかへうかへう をまわしてけうとてまわりのかこり	奉書四枚半續	同 同	同 同	同	同 歌	万亭應賀作 一陽齋豊國
	一勇齋國芳画			一陽齋豊國	川貞房画	

應賀作

あまのこころをたのしむるに
これならんはせむしとていつ
もたゞをたのしむるに
あまのこころをたのしむるに
あまのこころをたのしむるに
あまのこころをたのしむるに
あまのこころをたのしむるに
あまのこころをたのしむるに
あまのこころをたのしむるに
あまのこころをたのしむるに
あまのこころをたのしむるに



國貞画

倭文庫 九七



万亭應賀作

外題曲三因魚

上

錦重堂版



釋迦八相

倭文庫

午春

新版

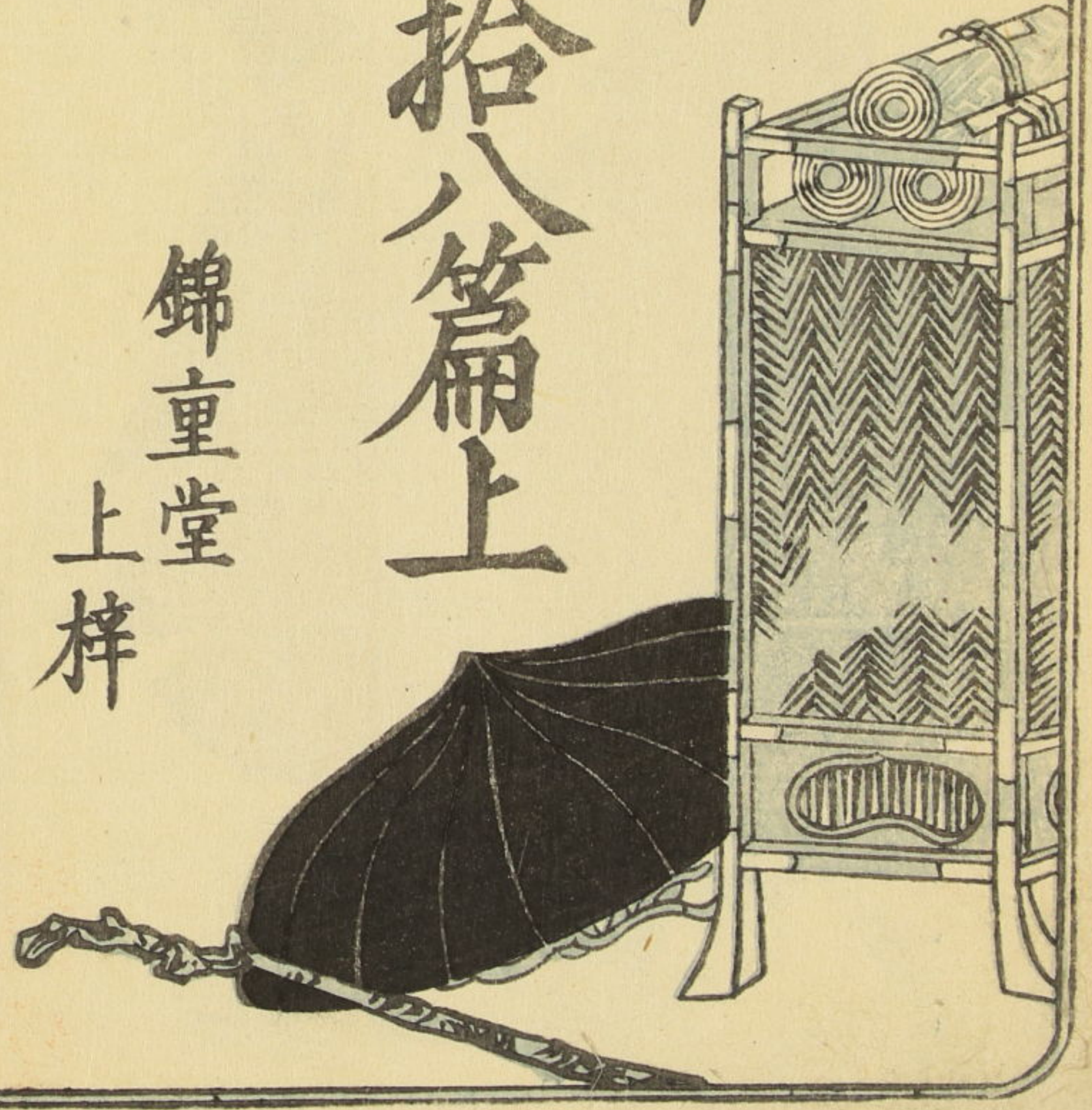
三拾八篇上

錦重堂

上梓

万亭應賀作
歌川國貞画

國富出



釋迦八相倭文庫二拾八編

夫道二筋されども其善所(自道)導く方(は)あ(る)く(て)仲尼(は)常
の綱(と)り(て)浮世(の)漂(ぶ)人(を)救(す)ひ(て)老子(の)空(く)ふ(た)と(て)道(を)勸(ま)め
天朝(の)大神(の)正直(と)り(て)人(と)道(を)導(き)世(の)尊(を)二世(の)因果(と)示(し)
て化(を)さ(れ)が教(の)衆生(の)あ(ら)わ(て)聖人(の)教(主)のあ(ら)わ(て)し(る)を
近(く)喻(よ)る(小)教(の)則(の)原野(を)り(て)小人(の)原野(に)迷(ま)ひ(て)外(を)あ(ら)は
聖人(の)原野(と)知(り)て明德(の)外(の)あ(ら)わ(て)一(つ)看官(は)是(の)さ(と)し
言(を)と(り)て案(を)ト(す)一(つ)と(り)と(り)云(ふ)

安政五戊午年正月吉日

万亭應賀誌

倭文庫



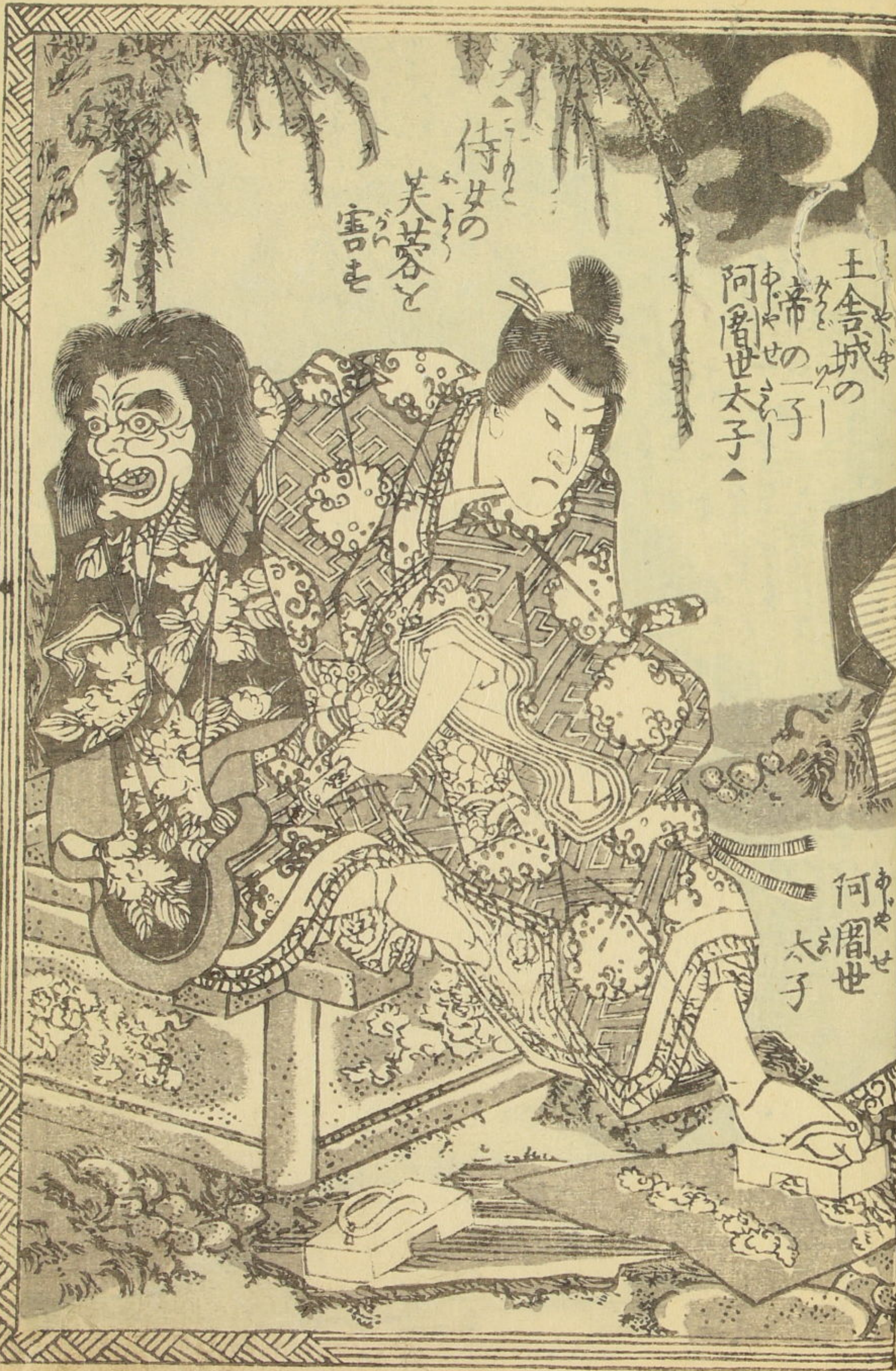
神通邪道の
 司法の性
 妙蹟の
 衰身の

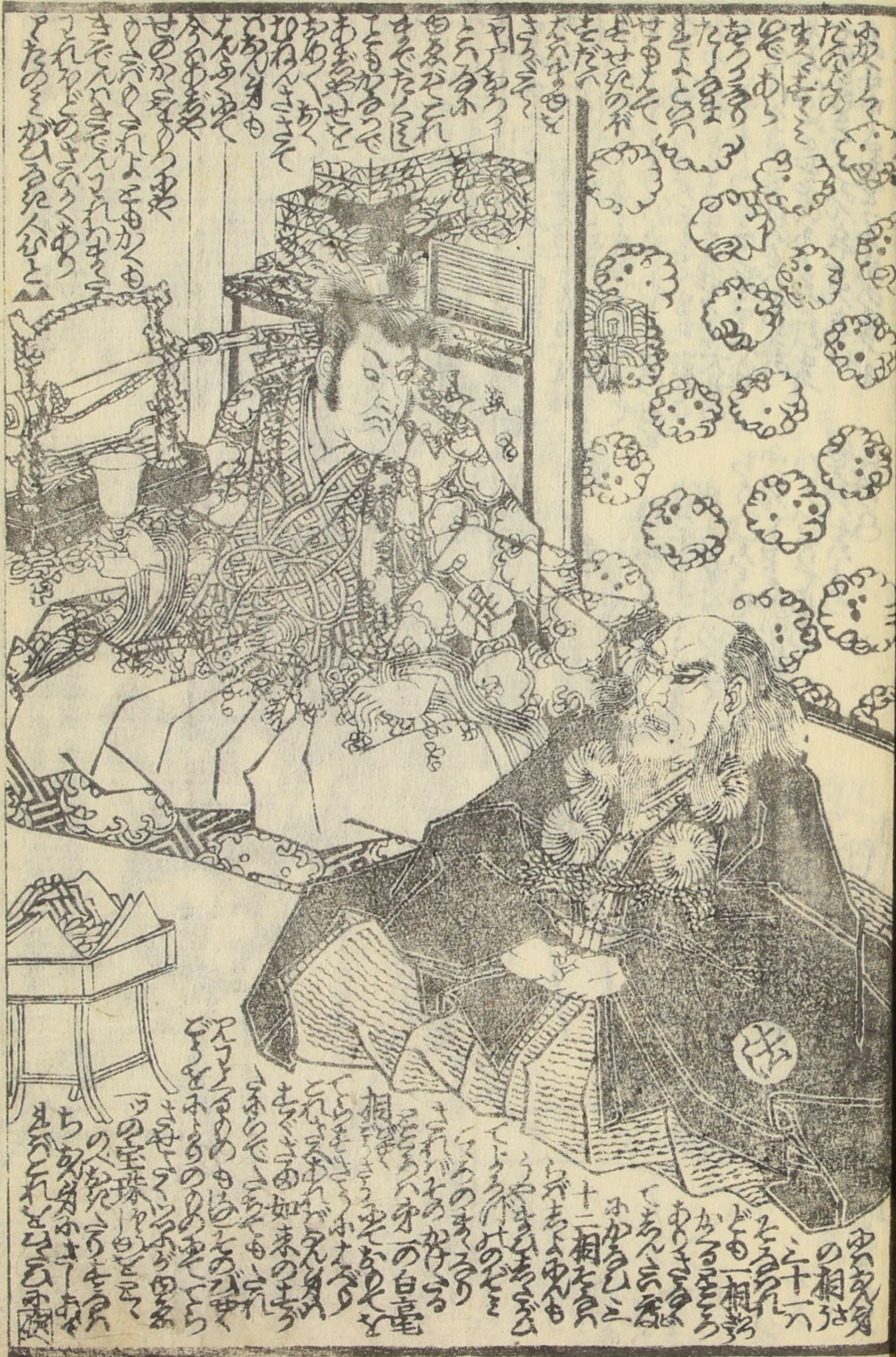
世尊七の
 初天の喜見城より
 下天
 五の居



如未

如未の
 后妃





朱子入道七人

四



作 大 座 州 川

三

「三」あわてあわてとて...
ののろふあわてあわてとて...
あわてあわてとて...
あわてあわてとて...
あわてあわてとて...

「七」あわてあわてとて...
あわてあわてとて...
あわてあわてとて...
あわてあわてとて...
あわてあわてとて...

あわてあわてとて...
あわてあわてとて...
あわてあわてとて...
あわてあわてとて...
あわてあわてとて...

あわてあわてとて...
あわてあわてとて...
あわてあわてとて...
あわてあわてとて...
あわてあわてとて...



あわてあわてとて...
あわてあわてとて...
あわてあわてとて...
あわてあわてとて...
あわてあわてとて...

あわてあわてとて...
あわてあわてとて...
あわてあわてとて...
あわてあわてとて...
あわてあわてとて...

天女

ついでに、おんまゝとすゝめうら...
そまのあましあかき...
おんなのあましあかき...
あまのあましあかき...
あまのあましあかき...
あまのあましあかき...



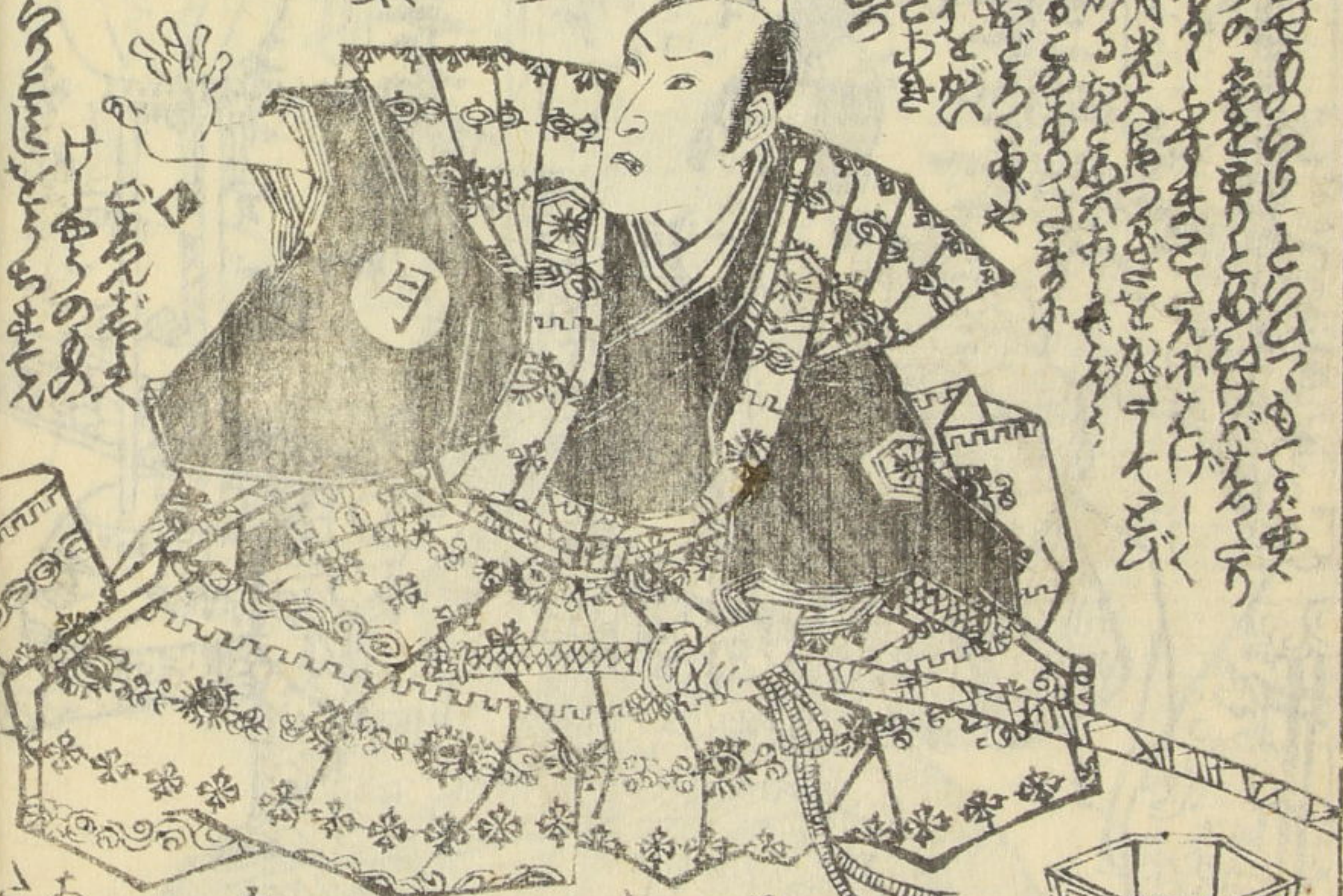
あまのあましあかき...
あまのあましあかき...
あまのあましあかき...
あまのあましあかき...
あまのあましあかき...
あまのあましあかき...

あまのあましあかき...
あまのあましあかき...
あまのあましあかき...
あまのあましあかき...
あまのあましあかき...
あまのあましあかき...



月夜の光り... 月夜は静かなる... 月夜は静かなる... 月夜は静かなる...

月光の光り... 月光の光り... 月光の光り... 月光の光り...



月光の光り... 月光の光り... 月光の光り... 月光の光り...



月光の光り... 月光の光り... 月光の光り... 月光の光り...



○あまのこころを
そそぐ中
すれども
あまのこころを
そそぐ中
すれども
あまのこころを
そそぐ中
すれども

あまのこころを
そそぐ中
すれども
あまのこころを
そそぐ中
すれども
あまのこころを
そそぐ中
すれども

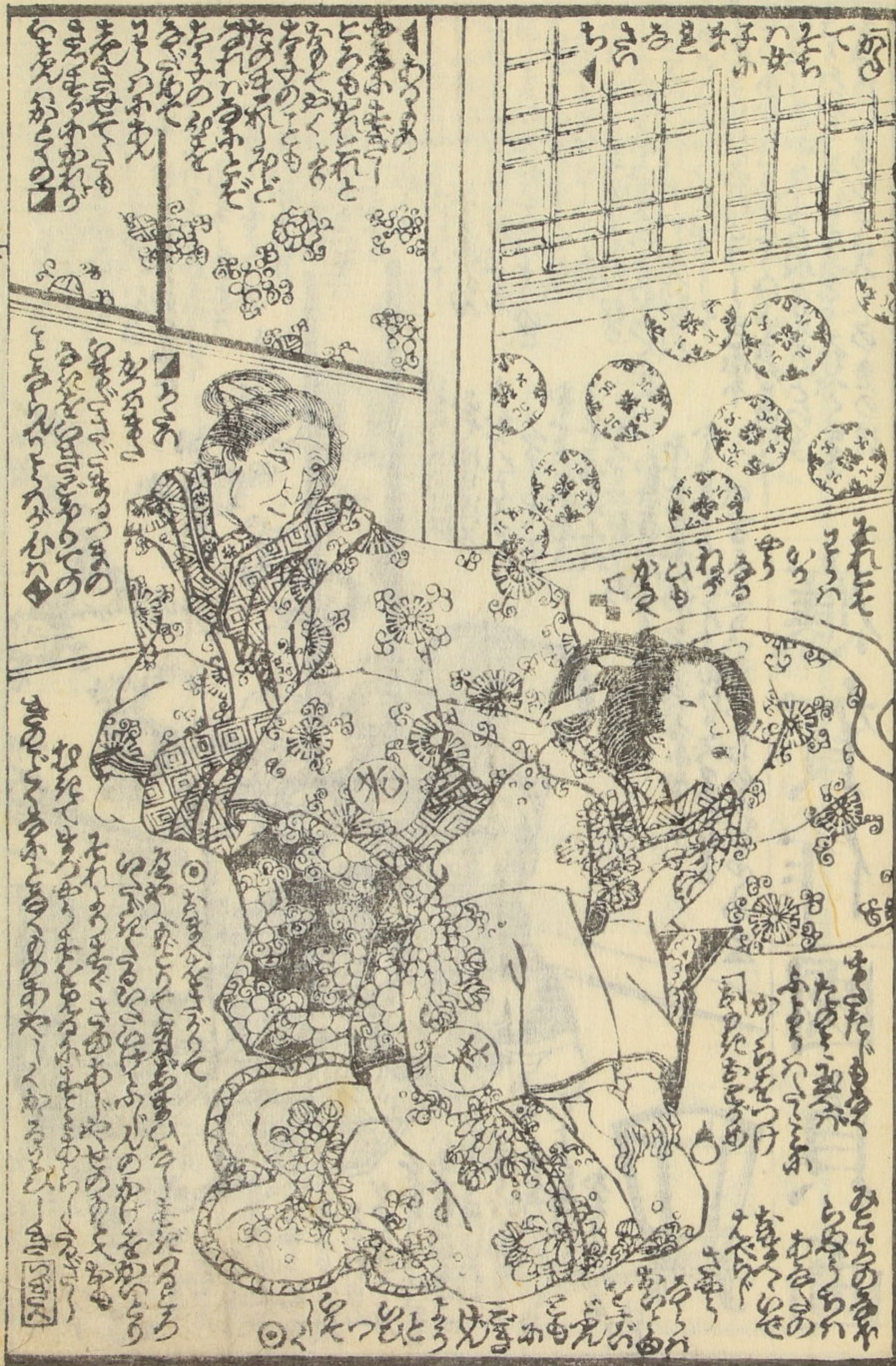
あまのこころを
そそぐ中
すれども
あまのこころを
そそぐ中
すれども
あまのこころを
そそぐ中
すれども



あまのこころを
そそぐ中
すれども
あまのこころを
そそぐ中
すれども
あまのこころを
そそぐ中
すれども

あまのこころを
そそぐ中
すれども
あまのこころを
そそぐ中
すれども
あまのこころを
そそぐ中
すれども

あまのこころを
そそぐ中
すれども
あまのこころを
そそぐ中
すれども
あまのこころを
そそぐ中
すれども



あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての

あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての

あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての



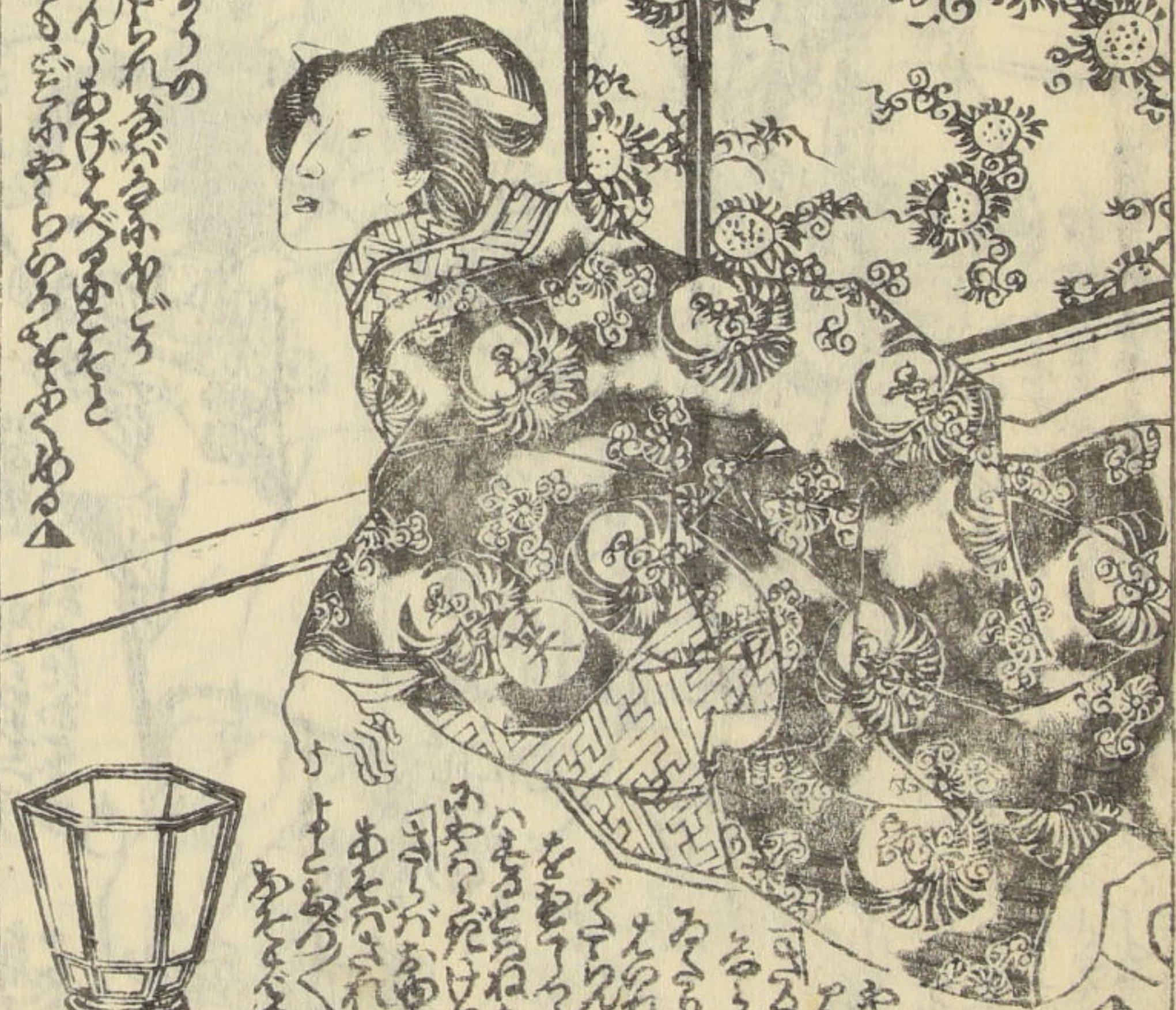
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての

あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての

あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての
あつたての

Handwritten text in the top right section, likely a preface or commentary.

應賀作國貞画



Handwritten text surrounding the illustration, including a signature and date.

安政五年戊午春新板目錄

倭文庫

三十八編 三十九編 万亭應賀作
四十編 四十一編 一陽齋豊國画

重の井菱漆別小紋

七編 八編 為永春水画

昔語小栗實説

二編 三編 松亭金水画

花山吹百人女郎

初編 二編 柳亭種彦画

大寶御江戸圖

極上摺奉書六枚半續

常磐津懷中本

初編 二編 三編 四編

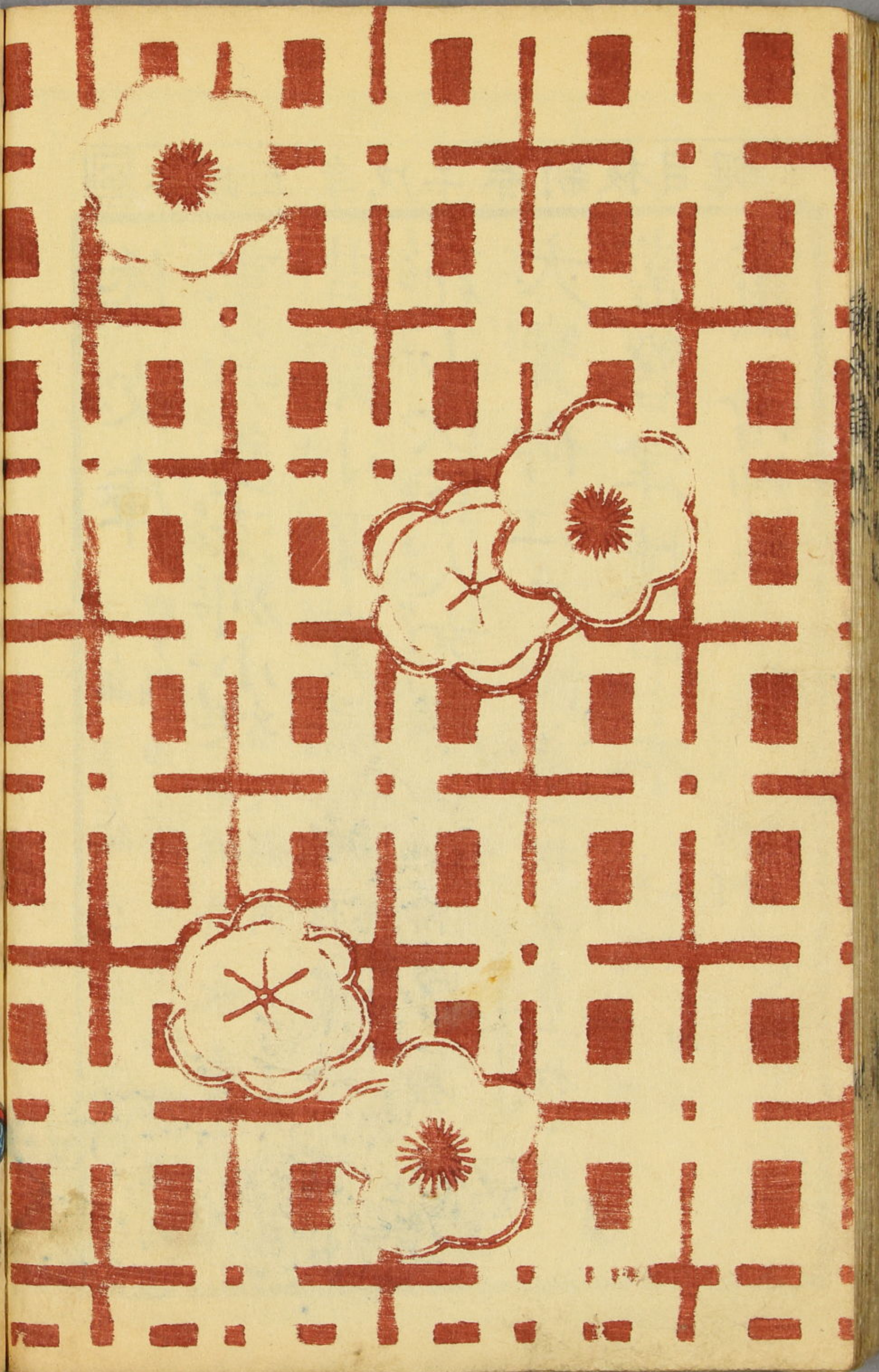
重繪州紙本類

上州屋重藏

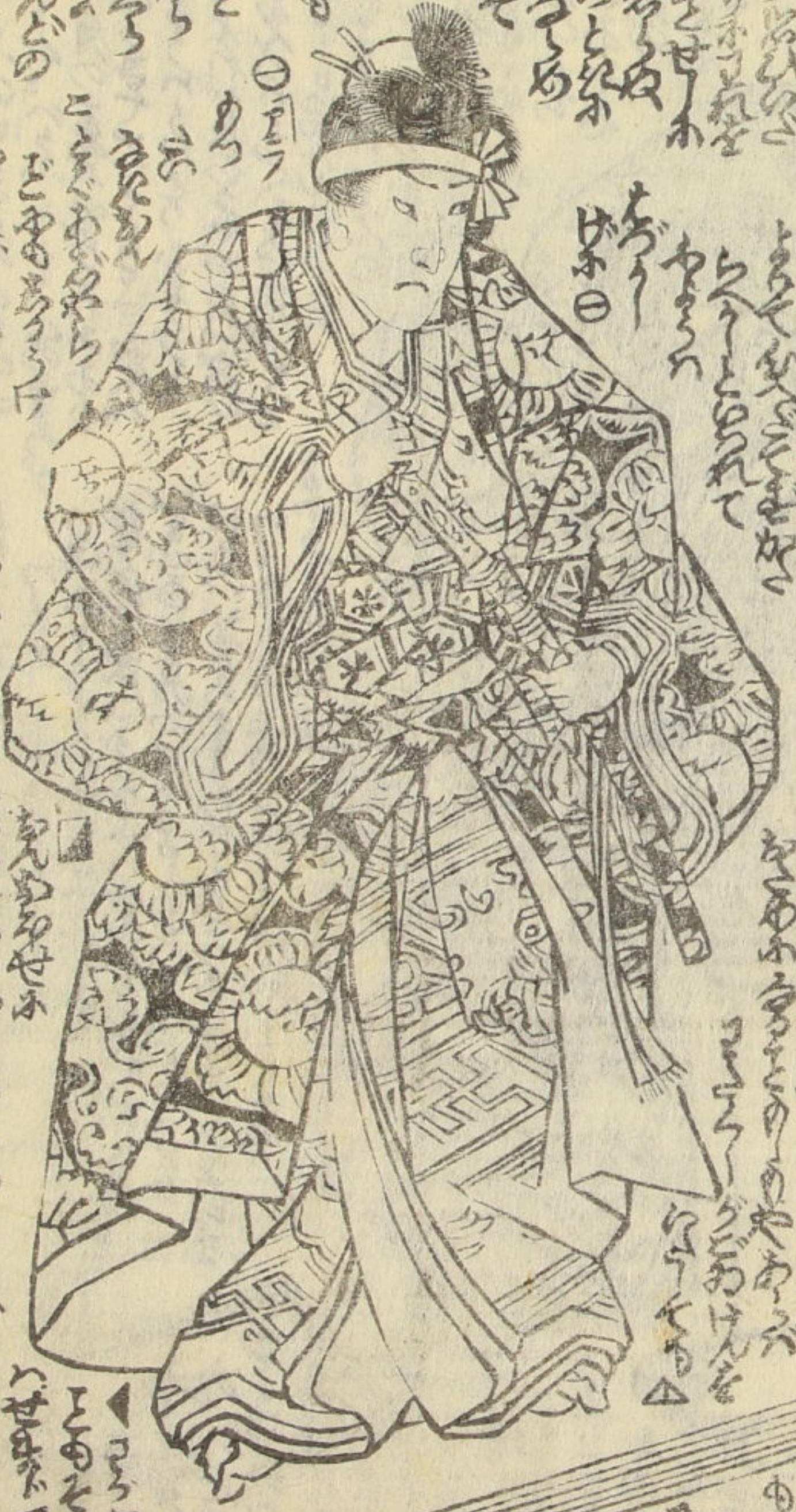
倭文庫拾編

歌川國貞画

安政五稔
午春新刊

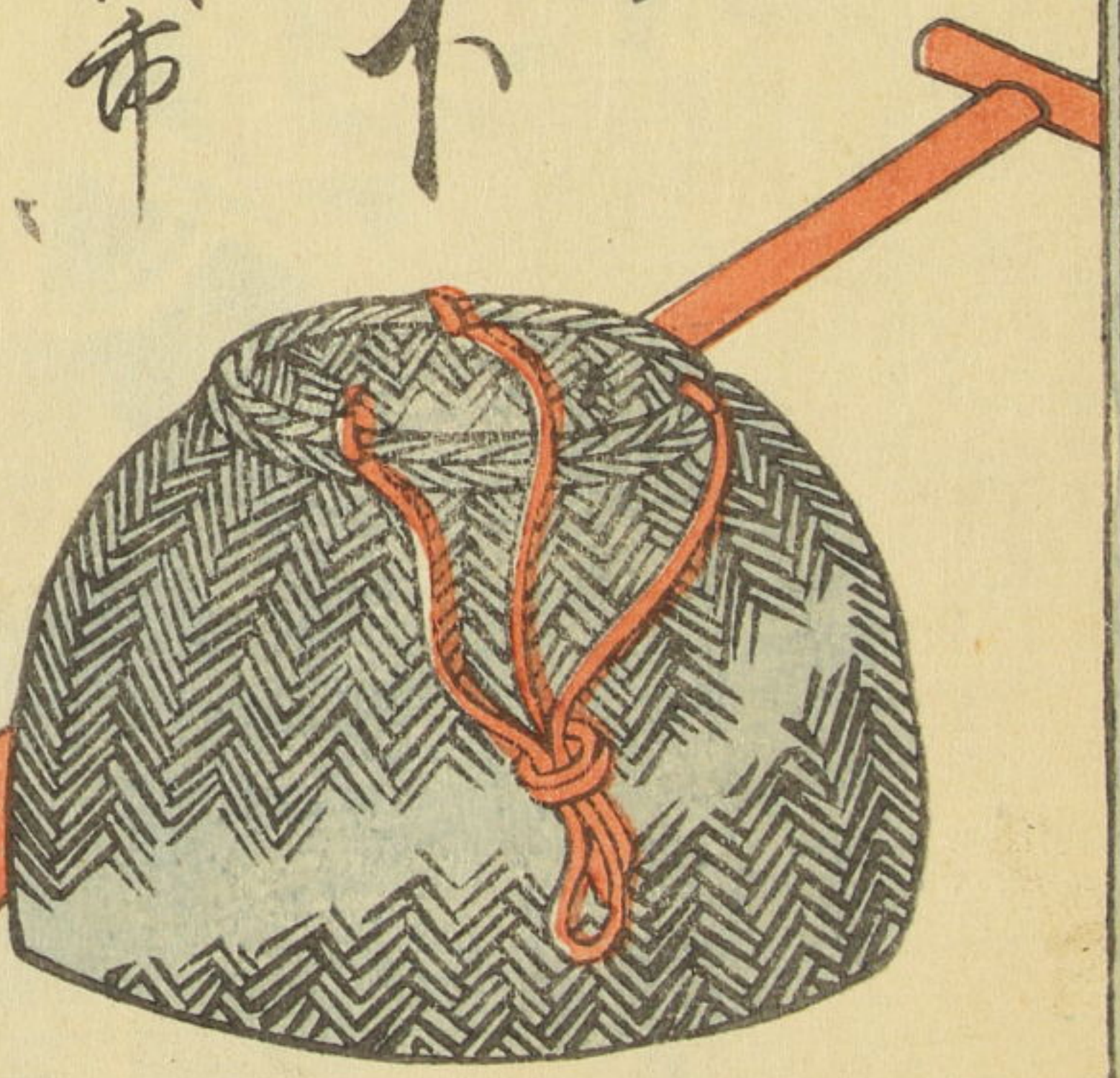


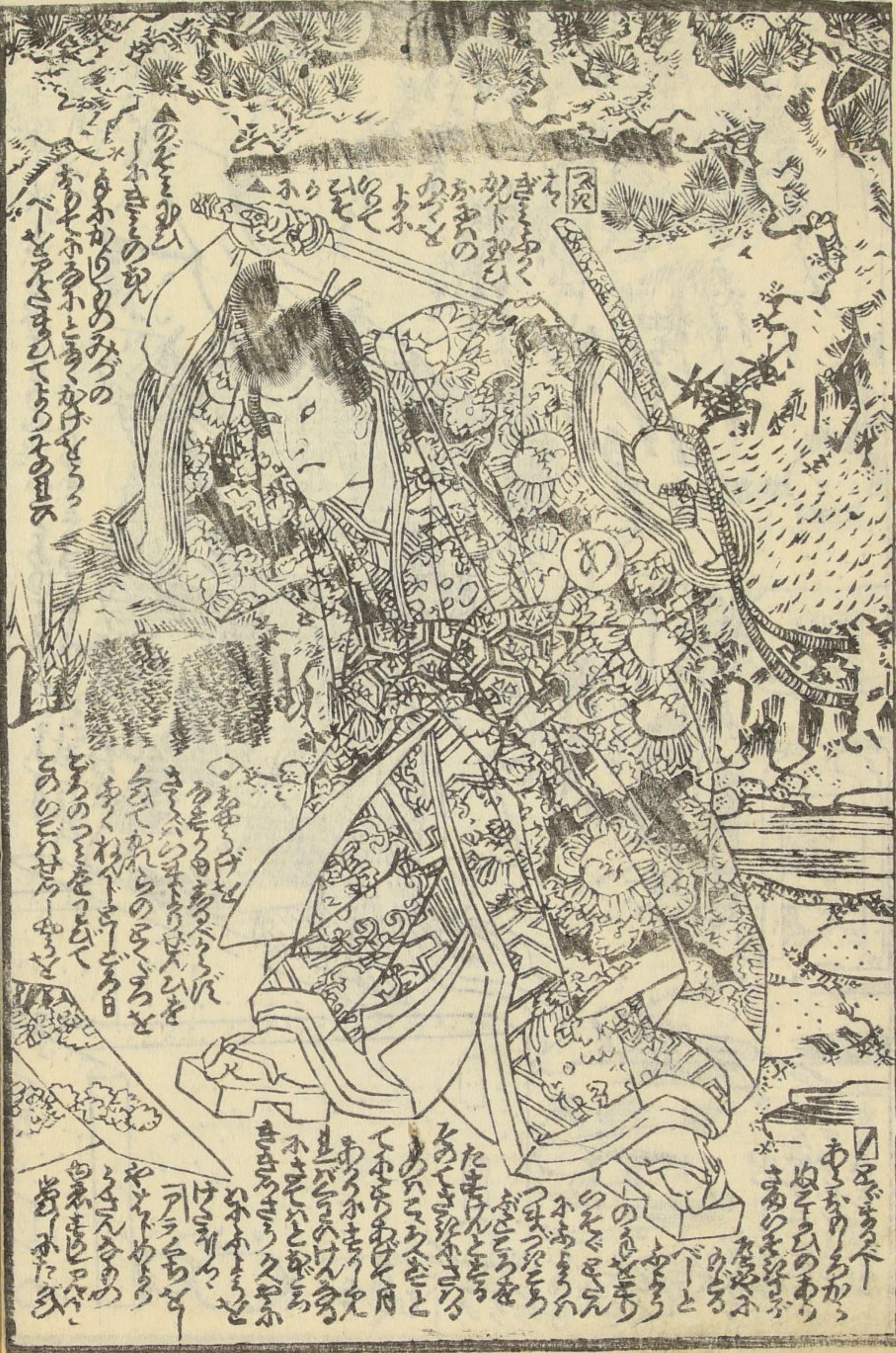
上野の山王... (Vertical text columns surrounding the illustration)



木下入道七人

中野と
三橋八橋下
午津夷敷市
怒笑作
玉貞画
とあ屋
困富虫





あまのり...
あまのり...
あまのり...

あまのり...
あまのり...
あまのり...

あまのり...
あまのり...
あまのり...
あまのり...



あまのり...
あまのり...
あまのり...
あまのり...

あまのり...
あまのり...
あまのり...
あまのり...



Vertical columns of Japanese text in the upper left corner of the right page, likely serving as a preface or commentary for the illustration.

Vertical columns of Japanese text surrounding the illustration on the right page, providing commentary or dialogue related to the scene depicted.



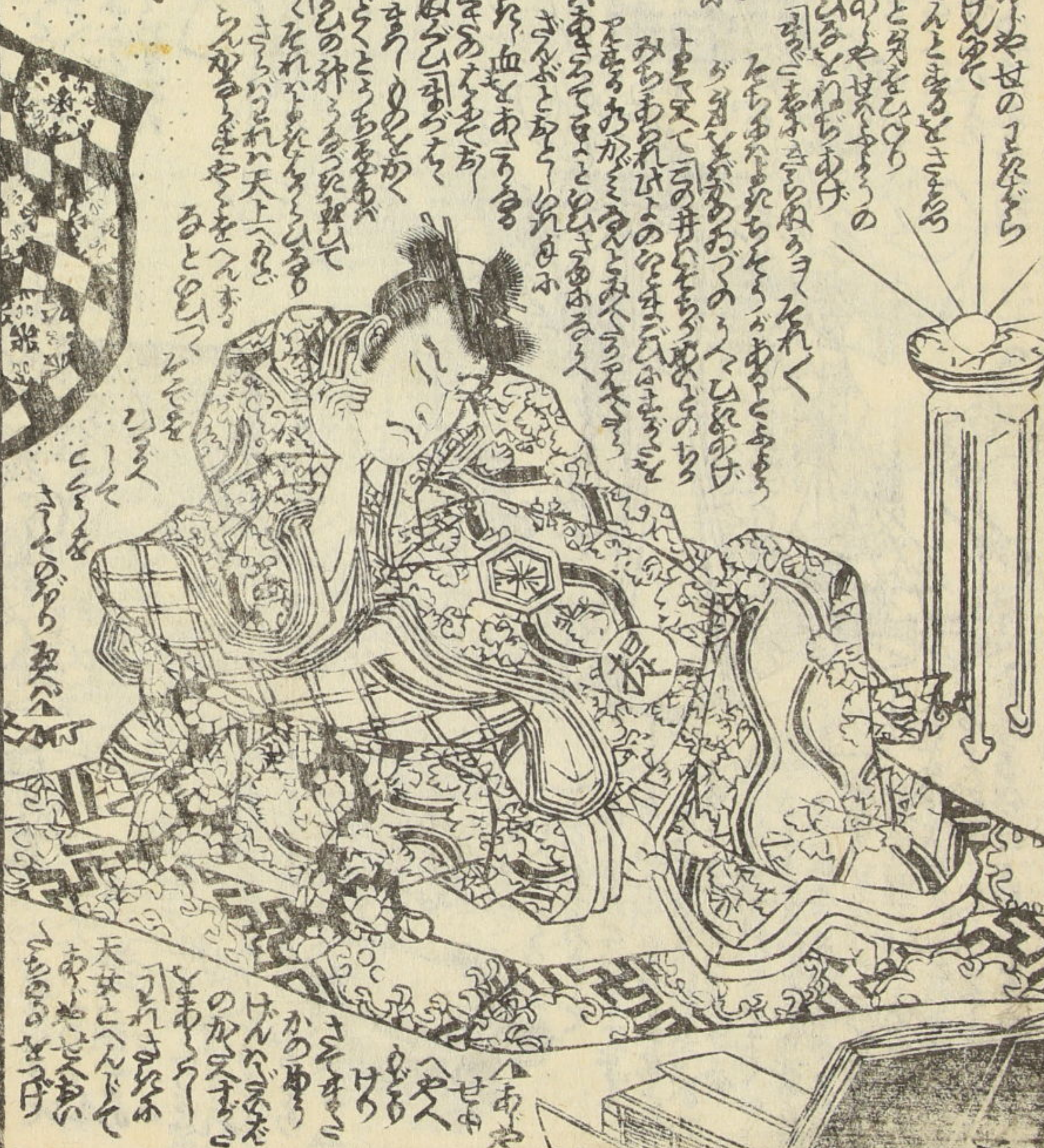
Vertical columns of Japanese text in the upper left corner of the left page, likely serving as a preface or commentary for the illustration.

Vertical columns of Japanese text surrounding the illustration on the left page, providing commentary or dialogue related to the scene depicted.

上のものが...
 のものが...
 のものが...
 のものが...
 のものが...



下天...
 のものが...
 のものが...
 のものが...
 のものが...



下のものが...
 のものが...
 のものが...
 のものが...
 のものが...

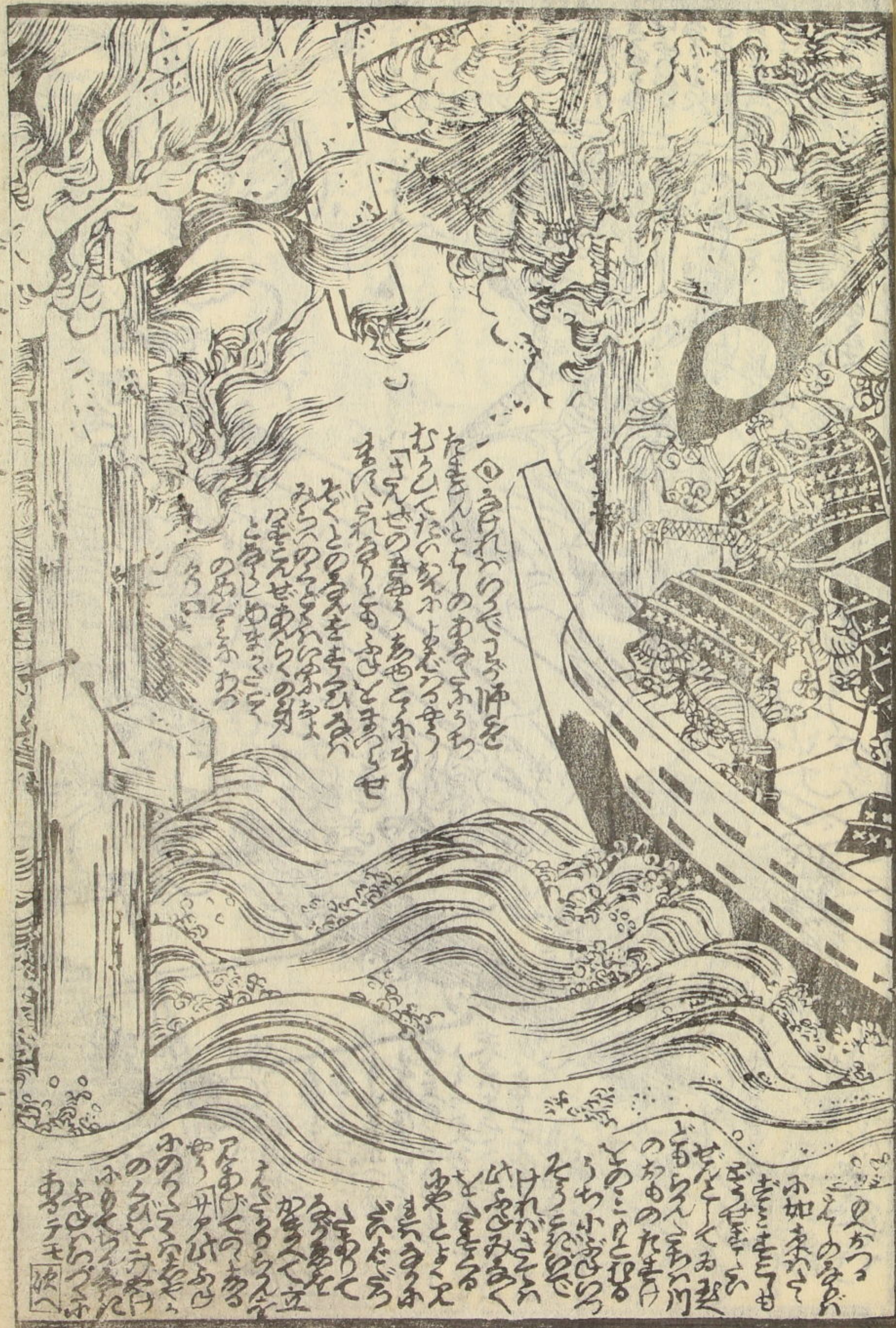
下のものが...
 のものが...
 のものが...
 のものが...
 のものが...



倭文庫 卅八



倭文庫 卅八



舟車社の神を
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに

舟車社の神を
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに



舟車社の神を
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに

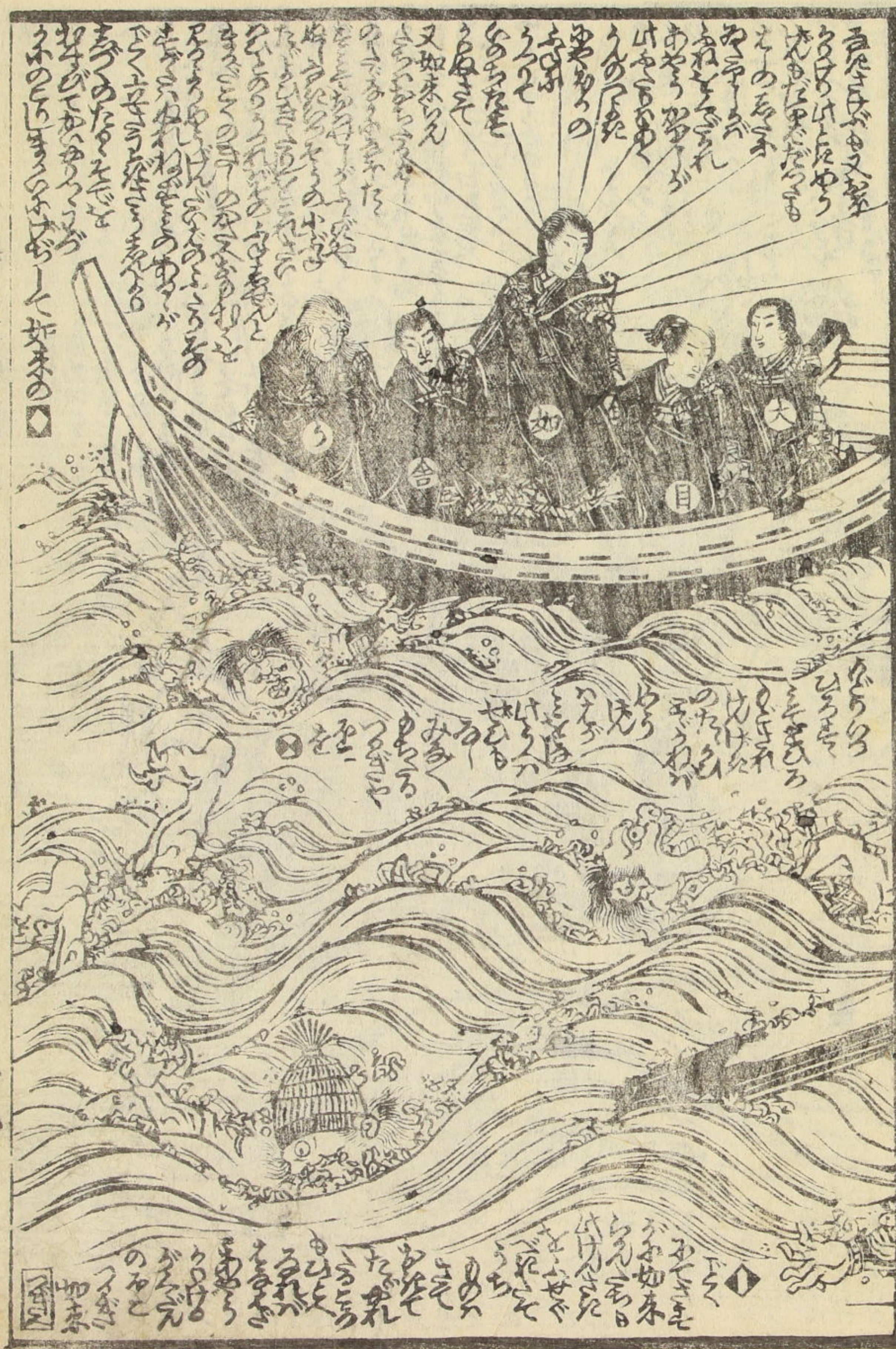
舟車社の神を
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに
おまつりするのまじりやうに



此の世に生かされしは
 うらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは

此の世に生かされしは
 うらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは

此の世に生かされしは
 うらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは



此の世に生かされしは
 うらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは

此の世に生かされしは
 うらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは

此の世に生かされしは
 うらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは
 かねてのうらみはなかりしは

万亭應賀作 〇 歌川國貞画 〇



安政五年戊午新春新板目錄

倭文庫出世双六 万亭應賀作 一陽齋豊國画

春の将棊双六 同 歌川貞房画

男女役替双六 同 一陽齋豊國画

武家奉公出世双六 同 同 画

興奉公出世双六 同 同 画

子宝延命袋 全一冊 万亭應賀画

重榮御江戸繪圖 奉書四枚半續

淺草土産 十返舎一九作 一陽齋豊國画

